

## 小平市の放課後子ども教室推進事業の概要

### 1 事業の目的等

子どもたちの安全・安心な居場所として、放課後や週末などに学校施設等を利用して、学習やスポーツ・文化活動を地域の方々に企画・運営していただき、地域住民との交流や学年を超えた活動のなかで、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

また、学校内に設置されている学童クラブと連携し、学童クラブの子どもたちも参加できるようになっています。

参加する子ども達のためばかりでなく、教室の運営を通して、地域と学校との協力体制がいっそう強くなり、また、高齢者や団塊の世代の方々などの地域の幅広い世代の協力をいただくことにより、地域力のアップも期待できる取組です。

### 2 実施の概要

事業費の財源は、国・東京都・小平市で総事業費の3分の1ずつを負担しています。

各学校区での教室の運営は、この事業を適切に運営できる団体として各学校区の地域で組織された「実行委員会」により実施しています。

小平市は、実行委員会と委託契約を締結し、事業を実施しています。

### 3 各校区の実施体制

#### (1) 実行委員会

各学校区において、普段から学校と密に連携している地域の方、保護者、ボランティア、退職教員、学生、社会教育・青少年・児童福祉関係者など、さまざまな方で構成されています。

教室の企画・運営、スタッフの確保、地域での広報活動等、その他実施に関して必要な活動を行います。

#### (2) コーディネーター

コーディネーターは、教育委員会が実施校区に必ず1名を配置しています。

実行委員会の代表者を務め、保護者や地域の方々への参画の呼びかけや、学校や関係機関・団体等との連絡など、総合的な調整役を担っています。

#### (3) 教育活動推進員

参加者に学習やスポーツ・文化芸術などを教える指導者、講師です。

#### (4) 教育活動サポーター

プログラムの実施のサポートや、参加者の安全の見守りなどを行います。

#### (5) 特別支援サポーター（必要に応じて配置）

特別な支援が必要な子どもの受入に際して、専属でサポートを行います。

#### 4 学童クラブとの連携

同一校内で放課後子ども教室と学童クラブが実施され、学童クラブの児童も、希望する放課後子ども教室のプログラムに参加できる「一体型」の円滑な運営には、放課後子ども教室のコーディネーターと学童クラブの指導員との連絡・連携が重要です。

学童クラブの子ども達が、放課後子ども教室への参加が容易となるような環境整備として、共通の傷害保険・賠償責任保険に加入しています。

#### 5 実績の推移

年度	実施校区		実施回数	参加延人数
19	四小、六小、八小、十三小、鈴木小	5校	825回	27,671人
20	新規開始校：二小、九小、十小	8校	1,323回	37,235人
21	新規開始校：七小、学園東小	10校	1,828回	44,037人
22	新規開始校：三小、十二小、十五小	13校	2,229回	57,055人
23	新規開始校：五小、十一小	15校	2,575回	59,284人
24	新規開始校：十四小、花小金井小、上宿小	18校	3,187回	79,482人
25	——	18校	3,350回	76,733人
26	新規開始校：一小、二中、六中	21校	3,768回	91,947人
27	新規開始校：一中、上水中	23校	3,780回	89,642人
28	新規開始校：四中	24校	4,067回	98,172人

※中学校は、基本的に学習に特化した内容で実施

#### 6 参考

小平第十小学校地区の平成28年度活動実績

教室名「十小子どもクラブ」

活動回数（教室実施回数）：133回

登録児童数：270人（うち学童クラブ児童64人）

参加延児童数：3,055人